

原本

三重建資RC四試 5607 号
受付 2026年09月11日
報告 2026年09月18日

骨材のアルカリシリカ反応性試験報告書

三四興業 株式会社 殿
三重県四日市市大治田三丁目6番27号

この写しは原本に相違ありません。
2026年 9月18日
三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子

国土交通省中部地方整備局 認知
〒510-0834

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

TEL (059)354-3706

FAX (059)354-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場

承認署名者 場長代理 中村 尚子

2026年09月11日付けで依頼のあった持ち込み試料の試験結果は下記の通りでした。

- 試料の種類※ 川砂利 (25~5)
- 産地※ 内部川流域
- 採取場所※ 三四興業 株式会社
- 採取日※ 2026年09月10日
- 試験項目及び試験方法 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)
JIS A 1145 : 2022
- 試験実施期間 2026年09月17日 ~ 2026年09月18日
- 試験実施場所 一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場 分析室
- 試験結果及び判定

繰り返し 測定項目	アルカリ濃度減少量【Rc】 (mmol/L)	溶解シリカ量【Sc】(mmol/L) 吸光光度法
1	120	8
2	119	8
3	118	8
平均値	119	8
判定	無 害 ✓	

[骨材のアルカリシリカ反応性の判定]

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

- 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。
- 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。
- アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

【備考】

(注)※印は依頼者申請事項
全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

